

2020年度 自己点検・評価シート

エコキャンパス推進委員会

基準11	教学ビジョン(4つのクオリティ)
------	------------------

* 各組織における新たな目標または、「2019年度時点の問題点(課題)」の改善に向けた目標を設定してください。
 * 2019年度の取り組みに対して内部質保証委員会の「所見」が付されている場合には、その改善に向けた目標を設定してください。

項目 (●:点検・評価項目 ○:評価の視点)	①現状説明、②長所・特色、③問題点 (2020年度期首時点)	①2020年度以降の達成目標(*) ②達成度を測るための客観的な指標	①2020年度の取り組みとその成果 ②2020年度の取り組み後の問題点(課題)	自己 評価	根拠資料	内部質保証委員会 所見(助言)
<p>●教学ビジョンの実現に向け、キャンパス・クオリティを向上させる取り組みが行われているか ○各組織の長所・特色となるような取り組みの実施 ・エコキャンパス宣言への取り組み</p>	<p>[現状説明] 2010年10月の創立110周年記念式典でエコキャンパス宣言を行ってから10年経過した。エコキャンパス宣言では、基本理念と9つの環境方針を定め、エコキャンパスの一層の推進をすすめてきた。この10年の間に、新図書館、新5号館が建てられ、現在は新次郎池周辺整備が行われ、また、今後もキャンパス整備が続き、本学の環境は大きく変化している。さらに、持続可能な社会を目指す取り組み(SDGs)が社会的に推進されており、そのような状況をうけ、本学におけるSDGsの取り組みを明確にすることを今年度の事業計画で述べている。 新次郎池周辺整備は本年2月から着工されており、9月完成の予定である。その後の活用と保全について検討することが今年度の課題である。 学内のLED化は、2019年度に進展を見たが、今年度はコロナ対応のため予算執行を見送り、器具の寿命による交換(不具合対応)のみ行う予定である。そのため、今後のLED化に向けた計画づくりの年に位置付けたい。 学内の喫煙場所は、国分寺校舎は2カ所、村山校舎は1カ所に集約されている。国分寺校舎の2カ所について、図書館東側は新次郎池への通路に隣接すること、葵陵会館2階は今後建替えをする建物であることから、今後の喫煙場所についての検討が必要である。</p> <p>[長所・特色] ①エコキャンパス宣言から10年間の取り組みは、過去3回の環境報告書にまとめている。 ②エコキャンパス推進委員会は各学部の教員と現場の職員で構成しており、方針の策定とその実施が適切に行われる体制になっている。</p> <p>[問題点] 構内の植栽については、近隣住民からの要望や防災や安全面からの計画的に手入れをする必要であるが、明確な方針や計画がなく、その場しのぎの対応となっている。</p>	<p>①2020年度以降の達成目標 1. 本学のSDGsに関する方針を定め、その取り組みを公表すること。 2. 新次郎池周辺整備の完了後の崖線緑地の活用と保全を推進すること。 3. 学内の照明のLED化を推進すること。 4. 構内の分煙の徹底と禁煙教育の推進。</p> <p>②達成度を測るための客観的な指標 1. SDGsに関する活動のデータ 2. 崖線緑地の活用状況と保全活動の実施状況 3. LED化の状況 4. 喫煙者数の推移</p>	<p>①2020年度の取り組みとその成果 1. 本学のSDGsに関する方針を定め、その取り組みを公表すること。 →エコキャンパス推進委員会にて、「東京経済大学SDGs宣言」(案)を策定し、2020年度末に大学WEBサイト等で公表する予定である。WEBサイトでは、宣言文と共に、研究や地域貢献、環境などのSDGs取り組み状況を掲載する。 2. 新次郎池周辺整備の完了後の崖線緑地の活用と保全を推進すること。 →新次郎池周辺整備は10月に竣工した。10月27日に竣工式を行い、学生・教職員等の供用を開始した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大規模なイベントは開催できない。そのなかで、11月4日に町内会ガイドツアー、11月14日に「東経の森」として地域向け開放を行った。保全是くらはね坂沿いの巨木、枯損木の整理を行った。また、近隣住民の参加による崖線緑地の管理作業を年3回行った(本年度は緊急事態宣言による活動停止期間があったため例年より減少)。本学ホームページ上で「東経の森」WEBサイトを公開した。 3. 学内の照明のLED化を推進すること。 →例年の外灯5本のLED化工事を行ったほかは、コロナ禍により予算編成の見直しをした影響で、建物内のLED工事は凍結となった。2021年度に再開する予定である。 4. 構内の分煙の徹底と禁煙教育の推進。 →大学構内で喫煙できる場所について、国分寺キャンパスは2カ所、武蔵村山キャンパスは1カ所に限定し、法令に対応した掲示等を行った。</p> <p>②2020年度の取り組み後の問題点(課題) 1. SDGsに関する活動のデータ →SDGsの取り組みについては、今後はSDGs推進委員会に委ねることとなった。具体的な活動としては、国分寺地域の就労支援、TFTによる貧困をなくすための活動、人権啓発教育、地区防災センターなど様々な取り組みを行っている。SDGsに関する様々な活動のデータは、今後はSDGs推進委員会において活用予定である。また、本学内に設置した地域連携センターでは、学生や教職員の地域連携および社会貢献活動を促進し、地域社会や産業界の課題に応え、発展に寄与することをめざしている。地域社会のニーズを受け取る対外的な窓口や情報発信拠点、また地域や産業界と大学とをつなぐ橋渡し役として社会へ貢献できるよう努めている。 2. 崖線緑地の活用状況と保全活動の実施状況 →町内会ガイドツアーに15名、「東経の森」開放日に221名の参加者があった。 大学報2020年度 第53巻第2号に「新次郎池周辺整備のめざしたもの」を尾崎委員が執筆した。 新型コロナウイルスの感染状況が好転すれば広く近隣住民に開放したい。 3. LED化の状況 →外灯5本と研究個室入替に伴う工事6室を実施した。今後はコロナ禍で凍結となった建物内工事を進めていく。 4. 喫煙者数の推移 →2009年度は喫煙者数1,036名(5,399名中)であり、喫煙率は19.2%であった。2019年度は喫煙者数479名(5,271名中)であり、喫煙率は9.1%となり、10年間で半減となった。なお、2020年度は新型コロナウイルスの影響により、健康診断の実施が一部学生のみとなり、サンプル数に偏りがあるため、データを取得できていない。</p>	<p>A</p>	<p>・東京経済大学SDGs宣言(案) ・東京経済大学報2020年度第53巻第2号P6~P8「創立120周年記念事業 新次郎池周辺整備のめざしたもの」 ・「東経の森」パンフレット ・喫煙数・喫煙率の推移(健康診断データより)</p>	<p>「東京経済大学のエコマネジメントシステム」に基づき、「エコキャンパス宣言 9つの環境方針」に対する総括を行ってください。</p>